

日 時： 令和7年2月20日（木）

14時～15時30分

1 開会

2 事務連絡

3 協議・意見交換等

（1） 令和6年度医療的ケア児実態調査について

令和6年度の医療的ケア児実態調査では保護者の負担を減らし、回収率を向上させるという目的で、健康増進課に協力を仰いだ。小児慢性特定疾病医療受給者証の更新時に聴取している情報を、障害福祉課と共有することに同意を得たうえで共有していただいた。共有された人数は411名。そのうち、医療的ケアがない児童などの調査対象者以外を省いた結果、99名であった。そして、障害福祉課のみで把握している医療的ケア児に対しては障害福祉課からアンケートを送付している。31名のうち、12名から回答があった。1名は医療的ケアが外れており、調査対象者は11名であった。今年度医療的ケアの実態が把握できた児童は110名であり、昨年度と比べ、大幅に増やすことができた。

（2） 医療的ケア児等コーディネーターワーキングチームについて

令和7年12月11日にわかゆり学園にて医療的ケア児等コーディネーター交流の場を開催した。その上で次年度にむけた取り組みをワーキングチームで検討した。今後、川口市で活動する医療的ケア児等コーディネーターの資格を持っている方々の連絡会としてこのワーキングチームをそのままスライドさせて連絡会として今後の開催をしていきたいと考えている。全体会、事例検討、見学会等のイベントなどを連絡会の中で開催をしていくことを検討している。年4回ぐらいを目安に3ヶ月に1回ぐらいのペースで、開催していきたい。

（3） 医療的ケア児に関する取り組みをもとにした意見交換

今回の協議会前に医療的ケア児に関する今年度の取り組み、来年度の取り組み、他機関が行っている取り組みの中で知りたい取り組み、その他共有したいことや御意見について参加機関あてアンケートに回答していただいた。このアンケートをもとに意見交換を実施。以下各機関の取り組みや意見の抜粋。

保育運営課：令和6年度から医療的ケア児の2名、4歳児2名の方の受け入れを4月から開始。令和7年度の医療的ケア児の募集もしており、今のところ3名入所予定。

健康増進課：小児慢性特定疾病医療費支給制度申請時に面接実施。アンケートを記載していただいている。また、長期療養児教室を年2回行っており、オンデマンド配信と交流を目的とした対面での教室を行っている。医療型障害児入所施設カリヨンの杜：就学についての家族サロンを開催。また特別支援学校の看護教員の先生たちとの研修会も開催。来年度も引き続きそのような取り組みを検討していきたい。

わかゆり学園：今年度医療的ケア児の単独通園を始めた。導尿と気管切開の児童を単独でお預かりしている。学園には成人も含めまして全体を見る看護師が2名おり、必要なときに介入してもらっている。

川口市立医療センター：退院調整時に家族支援を行っているが病院としてはヘルパーを使うところに目が向かないことが多い。ただ、児童にかかりつきりで家の家事とか何もできない状況である場合も多いため、保護者の利用希望があった際、情報提供できるようにしたい。

全体のまとめとして、医療的ケア児の支援を総合的、包括的に考えるため、ネットワークを構築、体制を整えていくことが重要であることで一致した。

4 閉会